

一番 日本语

2009年3月第3期
[22] VOL.22

月刊 总第22期

中日双语·有声杂志

いちばんにほんご

原 貫通日本語 原 貫通日本語 原 貫通日本語 原 貫通日本語 原 貫通日本語

文苑

日本悬疑小说

捉迷藏 —— 鬼ごっこ

笈川日语课堂

笈川老师亲自指导“即兴演讲的秘诀”

动漫频道 >>>

OL生活的欣喜与忧伤

工作狂 —— 働きマン

东京时尚

少女漫画排行榜

少女マンガランキング

求职快递

学会迈入社会的第一步

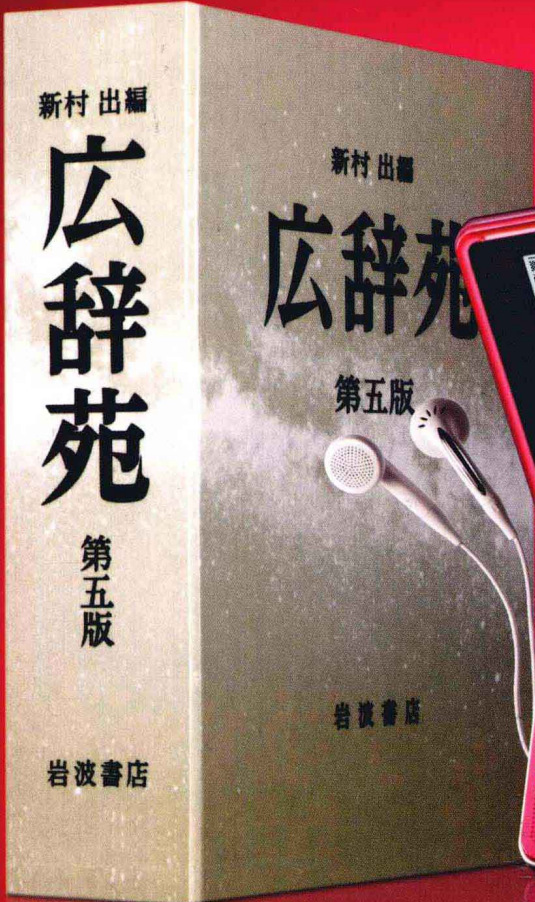
交换名片的礼仪 (一)

名刺交換の礼儀 (一)



CASIO®

译天下
卡西欧
电子辞典



新NEW
登场
EV-SP3900
RD 樱桃红

一查知天下

全 海量辞典 完整收录 学习工作都实用



快 超大手写屏和 点触式显示屏的 全新双触屏



准 发音清晰准确 下载存储正确完整



权威辞书·完整收录

译天下 | 搜索

吹响

“一番”

集结号

2005.11创刊
《贯通日本语》
(双月刊)

2009.01更名
《一番日本语》
(月刊)



特惠价

2005年11月-2006年11月 5元/本

更多优惠信息请电话垂询

★ 0411-84707464 0411-84707956

一路有你 相偎相依

杂志沪江博客: <http://brand.hjenglish.com/1231/>
杂志新浪博客: <http://blog.sina.com.cn/kantsuunihongo>
杂志网上讨论区: <http://bulo.hjenglish.com/group/ichiban/>
杂志QQ群:

东北群 (29855466) 华北群 (29465055) 华东群 (34881075)

华南群 (28321477) 华中群 (35161096) 西部群 (37614105)

邮箱: yinxiang@dutp.cn

电话: 0411-84707464 84707956

签名簿

李地 高智银 李璐 陈露露
桑珊 纪萍萍 陈夏荷
赵燕 王晶晶 刘理康
赵如南 许云飞 吴由宇
董静 李静

愛の涙

その涙はその人のための涙ですか
それとも自分が可哀相だから流す涙ですか

その人のための涙なら
涙が涸れるまで泣きなさい
それは美しい涙です

しかし 自分のための涙なら
それは 醜い涙です

その人のための涙に
自分のための涙を混ぜないようにしませんか

あなたはこんなに悲しむほど人を愛したので
素晴らしいことです

それだけ愛の深いあなたなら
きっと また人を愛することができます



你的泪水是为他而流
亦或是为了可怜自己

如果那是为他而流的泪
那么尽情地去哭吧 直到泪水干涸

那是美丽的泪

但是 如果泪水是为自己而落

那是丑陋的泪

请不要在为他而落的泪水中
混入为自己而流的泪

你曾如此刻骨铭心地爱过
这件事本身就很美
你是如此情深意切
一定会再度得到爱的眷顾

愛之泪

主办单位：大连理工大学出版社

大连理工大学电子音像出版社

理事单位：翔飞留学网

<http://www.gotolp.net/>

执行主编：遼东敏

责任编辑：海迎新 邓颖

责任校对：李 婷

特约供稿：笈川幸司

特约录音：半田武彦

设计总监：董振巍

市场总监：刘宇光

发行总监：邓正高

广告经营许可证号 001047

ISRC CN-Q08-09-0009-0/A·G4

《一番日本語》

编辑部地址：大连市甘井子区软件园路80号

理工科技园B座1004室

电话：0411—84707956

0411—84707464

传真：0411—84707956

发行部 电话：0411—84708842

传真：0411—84701466

邮购部 电话：0411—84703636

传真：0411—84701466

网 址 <http://www.dutp.cn>

信箱 yinxiang@dutp.cn

印刷：大连金华光彩色印刷有限公司

出版日期：2009.3.1

定价：15.80元（附赠MP3光盘）

卷首语

愛の涙——爱之泪 ● 1'23"

文化之旅

日本采风

04 大阪道頓堀に登場白いタイヤキ——大阪道頓堀的白色鲷鱼形豆沙点心 ● 3'01"

05 獅子舞が占うおみくじ——狮子舞占卜神签 ● 3'17"

06 明治神宮の夜——明治神宮之夜 ● 3'42"

07 懐かしい日本を味わう旅——怀念的扶桑之旅 ● 3'23"

文苑

08 冬——冬 ● 7'08"

12 鬼ごっこ——捉迷藏 ● 14'37"

学行天下

语言部落

17 「ね」和「よ」的用法区别

18 「～たり～たりです」和「～たり～たりします」的用法区别

「～します」和「～をします」的用法区别

日语小百科

19 日语中“青”与“緑”的区别

日本人拍照时为什么要说“はい、チーズ”？

日语中“人間”一词的来历

单词角

20 メイクアップ化粧品の種類とブランド——化妆品种类及品牌

速听的耳朵

21 ニュース特集——新闻集锦 ● 11'52"

听故事学日语

24 爪と牙を取られたネコ——没有爪子和牙齿的猫 ● 9'00"

28 本当の母親——真正的母亲 ● 8'11"

31 ジャックと豆の木——杰克和豆蔓 ● 4'05"

笈川日语课堂

32 即興スピーチの秘訣（一）——即兴演讲的秘訣（一） ● 2'39"

考情看板

38 日语能力测试听解试题分析（三）1级——顺序类型题解题技巧 ● 8'24"



貫通日本語

一番日本語

いちばんにほんご

留学日本

44 翔飞留学之窗·九州日本語学院概要——九州日语学院简介

小杰在日本

46 卒業——毕业

娱乐几何

歌吧

47 愛をこめて花束を——充满爱的花束 4'55"

49 さようなら大好きな人——再见，心爱的人 3'52"

动漫频道

51 働きマン——工作狂 3'46"

经典日剧对白

57 オー！マイ・ガール！！——哦！我的女孩！！ 21'42"

星星耀闻

65 不惑の年の女性——不惑之年女明星 1'55"

66 お笑いで人気のナベアツ——搞笑高手渡边钟 3'13"

都市风景

东京时尚

67 ユニークなご当地ナンバープレート——独特的当地车牌照 2'52"

68 静かに進化するエコバッグ——悄然进化的环保包 3'13"

69 少女マンガランキング——少女漫画排行榜 3'46"

70 紙コップ業界の革命——纸杯行业的革命 3'17"

求职快递

71 名刺交換の礼儀（一）——交换名片的礼仪（一）

数码E族

74 ホンダ二輪車——本田摩托 3'13"

75 古式ゆかしいロボットたち——古风荡漾的机器人 2'46"

读者园地

76 「あなたの動物タイプ」を診断——判断“你的动物类型”

78 欢迎来到一番声优部 8'00"

80 翻译擂台

[22] VOL.22

2009年3月第3期

月刊 总第22期
中日双语·有声杂志

杂志QQ群：华北（29465055）华南（28321477）东北（29855466）
华东（29855466）华中（35161096）西部（37614105）

杂志新浪博客：<http://blog.sina.com.cn/u/1250220667>

杂志沪江博客：<http://brand.hjenglish.com/1231/>

杂志网上讨论区：<http://bulo.hjenglish.com/group/ichiban/>

杂志淘宝店：<http://shop35003396.taobao.com>

大阪道頓堀に登場白いタイヤキ

日本では子どもから大人まで人気のタイヤキ。魚の鯛をかたどったこのお菓子に「白いタイヤキ」があるのをご存知だろうか？その白いタイヤキのお店が、大阪・ミナミの道頓堀にオープンした。白いタイヤキについて少し調べてみたところ、九州で人気が出て、全国にも徐々に広まりつつあるという。なぜ白いのかというと、小麦粉の代わりにタピオカ粉を使って生地を作っているからで、その中に、黒あんや白あん、カスタードなどをに入れて焼いている。この店では、上の3つの味のほか、抹茶、チョコ、焼きイモが現在販売されている。

生地のもちもち感がけっこう美味しい。ふつうのタイヤキだとパリッとした生地が特徴的だが、これとはまったく異なる新しい味わいだ。さらに、カスタードなどの相性もよく、思わず3個、5個といういろいろな味を食べ比べてみたくなる。

一番人気はカスタードといい、卵をたっぷり使ったというクリームが口の中ですりける食感はなかなかいいける。またチョコは、甘党な女性たちに人気だそうで、最近登場したという焼きイモも甘すぎず、この意外な組み合わせ、タイヤキの常識を覆すような独特の味わいが楽しめる。

白いタイヤキは、一個160円から200円。の種類がギフトボックスに入った道頓堀セットもある。場所は、道頓堀にある「カニ」で有名なかに道楽を東に歩くとすぐ。くだおれの町・大阪の中でも特に激戦区の道頓堀で、新たなスイーツ、大阪土産として名物になれるか？

大阪道頓堀的白色鯛鱼形

文字难度指数 ★★☆☆☆

豆沙点心

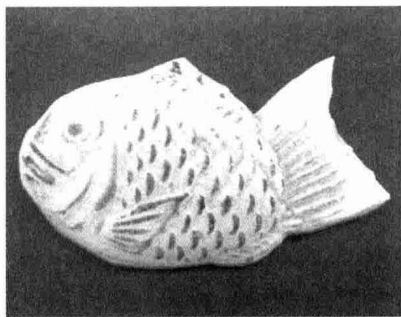
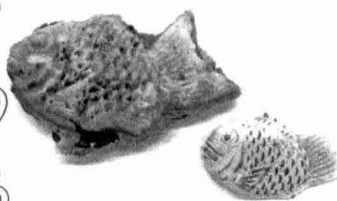
鯛鱼形豆沙馅点心在日本从孩子到大人都很受欢迎。您是否听说过“白色鯛鱼形豆沙点心”呢？这种白色鯛鱼形豆沙点心店在大阪的南道頓堀开张了。

据说白色鯛鱼形豆沙点心最早在九州受到欢迎，然后慢慢扩大到整个日本。外观之所以为白色，是因为用木薯淀粉为原料代替了传统的面粉制作而成，而且其中加入了黑豆和白豆、牛奶蛋糊等一起烤制。现在这家店除以上3种口味外，还出售抹茶、巧克力、烤白薯等口味。

吃起来很有弹性，相当好吃。一般的白色鯛鱼形豆沙点心，脆皮是一个特色，但这种却是截然不同的新口味。而且与牛奶蛋糊等非常匹配，不禁想要尝两三个甚至更多口味。

最受欢迎的是牛奶蛋糊味。蛋糊入口即化，口感极佳。另外巧克力味儿受到喜爱甜食女性的欢迎，最近上市的烤白薯馅儿也不太甜，这些创新的组合，一改鯛鱼形豆沙点心的惯例，带给大家独特的味觉享受。

白色鯛鱼形豆沙点心价格每个从160日元到200日元不等，也有6种口味的“道頓堀礼品套盒”。从道頓堀有名的“螃蟹”店向东走几步就是。在讲究饮食的城市大阪，尤其是店铺激战区的道頓堀，白色鯛鱼形豆沙点心能否成为大阪的新特产呢？



獅子舞が占うおみくじ

京の台所、錦市場を東に向かって抜けていくと、突然、目の前に大きな鳥居が現れる。ビル間にピッタリ収まっているようにも見えるその鳥居、実は隣接する建物の3階部分に突き刺さるような形で立っているのだ。これはビルを建設する際に鳥居を壊さないよう配慮した結果で、両隣の店に入って3階に上れば、実際に壁から突き出る鳥居の一部を見ることができるといふ。

そして、この鳥居をくぐると、道はつきあたりにつづかり、錦天満宮に到着。学問、商売繁盛にご利益のあるといわれるこの神社は、規模こそ小さいものの、京の繁華街の中にあることで、地元の人だけでなく、観光客もたくさん訪れている。境内に湧き出る「錦の水」は、京の名水にも選ばれ、その横に鎮座する「神牛」には、今年の干支が「丑」ということもあって、ご利益を求める人々は後を絶たない。

さて、錦天満宮のもう一つの名物が「からくりみくじ」。本殿の左側に設置されている、箱状の機械おみくじだ。このガラス張りの箱の中には獅子舞がいて、人が近づくと、なんと踊り出して出迎えてくれる。そして、お金を投入して「和英文みくじ」「こどもみくじ」などの種類から選んでボタンを押すと、そのおみくじをくわえて持つてくる仕掛けになっている。特に、英語で書かれたおみくじは珍しく、海外からの観光客が歓声をあげながらシャッターを切る姿も見られた。おみくじは一回200円。この、どこかコミカルに舞う獅子に自分の運勢を占ってもらおうというのも、なかなかおもしろい。きっと京都巡りの記念になるだろう。

獅子舞占う神籤

文字难度指数 ★★★★★

穿过“京都の厨房”锦市场一直向东走，突然，眼前出现了巨大的牌坊，看上去仿佛是恰好镶嵌在大楼之间，实际上是以扎入的状态立在了毗连房屋的二楼部分。据说这是在建设这幢大楼的时候，为了不破坏牌坊而深思熟虑的结果。进入两侧的店铺，上到二楼，便可以看到从墙壁突出来的牌坊的一部分了。

从牌坊下穿过，路的尽头就是锦天满宫。以保佑学业有成、生意兴隆而闻名的锦天满宫，规模虽不大，但因为建在京都繁华街内，所以不仅本地人，前来拜访的游客也不少。院内涌出的“锦之水”入选为京都名水，而端坐一旁的“神牛”，也因今年的牛年，前来祈祷的人络绎不绝。

锦天满宫的另一个有名之处，便是“机关签”。即放置在大殿左侧的箱形机器求签箱。透明的箱子里有个舞狮，人一靠近，箱中的狮子便会跳起舞来迎接客人。投入钱币，“日英双语神签”、“儿童神签”等多种神签同时出现，按下按钮，舞狮便会将神签叼出来给您。特别是用英语写的神签十分少见，所以常常能够看到海外游客一边发出欢呼声，一边拍照的开心身影。

抽1次签200日元。这种让舞狮为自己占卜运势的做法实在有趣，一定会成为京都之旅的美好回忆。



深夜、東京湾の円弧型の夜空を遠く眺めていて、地上からの灯りが明るく輝いているのに気づいた。それは空全体を暗紅色に染め、夜の奥深さを探すべくもない。

ふと、初めて体験した「アカリウム」を思い出した。その晩、原宿駅を出て明治神宮方向の夜空を見ると、ほんの太く青い光線が天まで伸びているのを見つけた。これは「光の鳥居」と呼ばれ、この個の献灯から成る「オーロラ提灯」とともに、不思議な光景を作り出している。かつて戦火で焼失した明治神宮が、復興50周年を記念して、このような珍しい夜間ライトアップショーを演出したのだそうだ。

鳥居をくぐり、約800メートルの「光のじゅうたん」をゆつくりと歩くと、参道の周囲はまるで、たくさんの「光の妖精」に囲まれたように感じられる。西側では道に沿って500のろうそくが並べられ、遠くには篝火がきらめき、霧の中に溪流が流れる。すぐ近くでは、金色の光に輪郭が浮き上がった荘厳な神殿が、三々五々参拝に訪れる人々を静かに迎えてくれる。木の靴が玉砂利を踏む音が聞こえ、途切れがちな虫の音が秋の夜の寒さを告げる。木々が灯りに照らされて、昼間とは異なる趣を見せている。時折現れる提灯を持った案内人は、風景の中に溶け込んだもう一つの風景のようである。

記憶に残る明治神宮は、除夜の時と夏のイベント以外は夜間の開放を行っていない。だが今夜は、はるか昔から今に伝わる伝統的建築物の間を歩きながら、原始の焔に照らされた現代の人工の灯りをはるかに眺めて、まるでこの国際的大都市の中心から離れて深山の仙境に漂っているような錯覚を覚える。

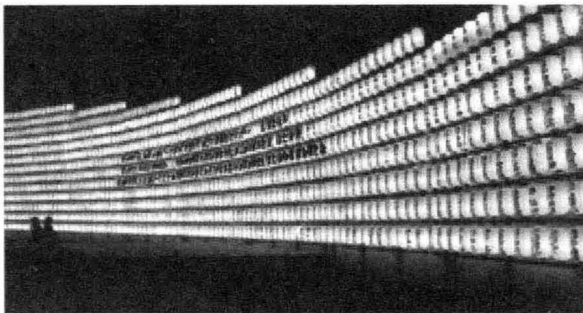
めい じ じんぐう よる 明治神宮の夜 明治神宮之夜

文字难度指数 ★★★★★

深夜，远眺东京湾圆弧形的夜空，地面上璀璨无垠的灯火，将整个天空染成暗红色，令人无法探寻夜的深邃。

突然想起第一次“光存在”的体验。那晚出了原宿车站，仰望明治神宫方向的夜空，看到了延伸到天穹的两条极粗的蓝色光线。这个被称为“光之牌坊”，它与由1200盏灯笼构成的“极光灯笼”一道，创造出了不可思议的景象。曾烧毁于战火的明治神宫，为纪念复兴50周年，演绎了这场罕见的夜间灯火秀。

穿过牌坊，沿着约800米长的“光之地毯”缓缓前行，参拜通道的四周，仿佛被“光之精灵”包围。在西侧沿途排列着900盏蜡烛，远方篝火闪耀，云雾中小溪流淌。眼前，被金色的光勾勒出轮廓的庄严神殿，静静地迎接着三五成群来参拜的人们。木屐踩在大粒沙子上的声音传入耳畔，时隐时现的虫声诉说着秋夜



的寒意。被灯光照射的各种树木，让我们看到了与白天不同的景象。时不时出现的提灯笼人，成了融入风景中的另一道风景……

记忆里的明治神宫，除夕和夏季特别活动以外的夜晚是不对外开放的。而今夜，步行于自古承传至今的传统建筑物之间，欣赏着原始篝火和现代灯光的融合，令人不由产生了远离国际大都市的中心，漂浮在深山仙境中的错觉……

日本の本州最西端 山口県。「はじめてなのに、なつかしい。」

南国のようなコバルトブルーの海と白い砂浜が美しい角島(下関市)、手付かずの自然が残っていて、キャンブやマリンスポーツが楽しめる、映画やドラマなどの撮影にも使われている。角島とは対照的な、日本海の荒波に侵食された奇岩や洞門が展開する別名「海上アルプス」と呼ばれる青海島(長門市)も県内屈指の景勝地。遊覧船や遊歩道での散策がおすすめです。瀬戸内海に浮かぶ笠戸島(下松市)では、温泉に浸かりながら夕日の絶景が堪能できる。

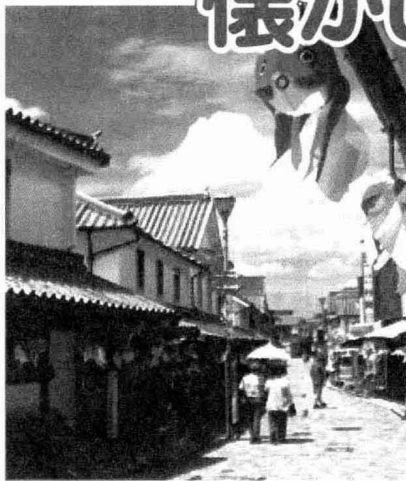
また、140年前に起こった明治維新のふるさとであり、多くの維新志士たちを輩出した城下町・萩(萩市)を歩くと、今でも当時の風情そのまま。金魚ちょうちんが民芸の白壁の町並み(柳井市)も、江戸時代の商家が残っていて情緒たつぷり。日本最大のカルスト台地・秋吉台(美祢市)の下に点在する無数の鍾乳洞は、迫力があって圧倒される。錦帯橋(岩国市)は、世界にひとつしかないという木造五連の太鼓橋だ。

さらに、三方を海に囲まれた山口は、新鮮な海の幸がとて豊富。冬のフグ料理やアノコウ料理は有名で、ほかにもシロウオ、ケンサキイカ、天神鰻、車エビ、ヒラメ、甘ダイなど、四季ごとに絶品のご当地グルメが味わえる。

山口県へは、新幹線で東京から約4時間28分、大阪から約1時間50分、博多から約10分。下関と韓国・釜山を結ぶフェリーも毎日運航されている。

なつ にほん あじたび 懐かしい日本を味わう旅 怀念的扶桑之旅

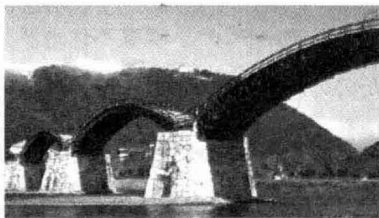
文字难度指数 ★★★★★



来到日本本州的最西端，山口县，有一种“虽是首次，似曾相识”的感觉。

有着南国般蔚蓝色大海和白色沙滩的美丽角岛(下关市)，保留着自然原貌，不但可以饱享露营和海滨体育的畅快，还被作为电影和电视剧等的外景地。与角岛形成对照的，是被称为“海上阿尔卑斯”的青海岛(长门市)，这里有很多日本海的怒涛侵蚀的奇怪岩石和洞门，也是县内屈指可数的名胜地，游览船和散步道的漫步是旅游亮点。在漂浮于瀬戸内海上的笠戸岛(下松市)，还可以边泡温泉边赏夕阳景观。

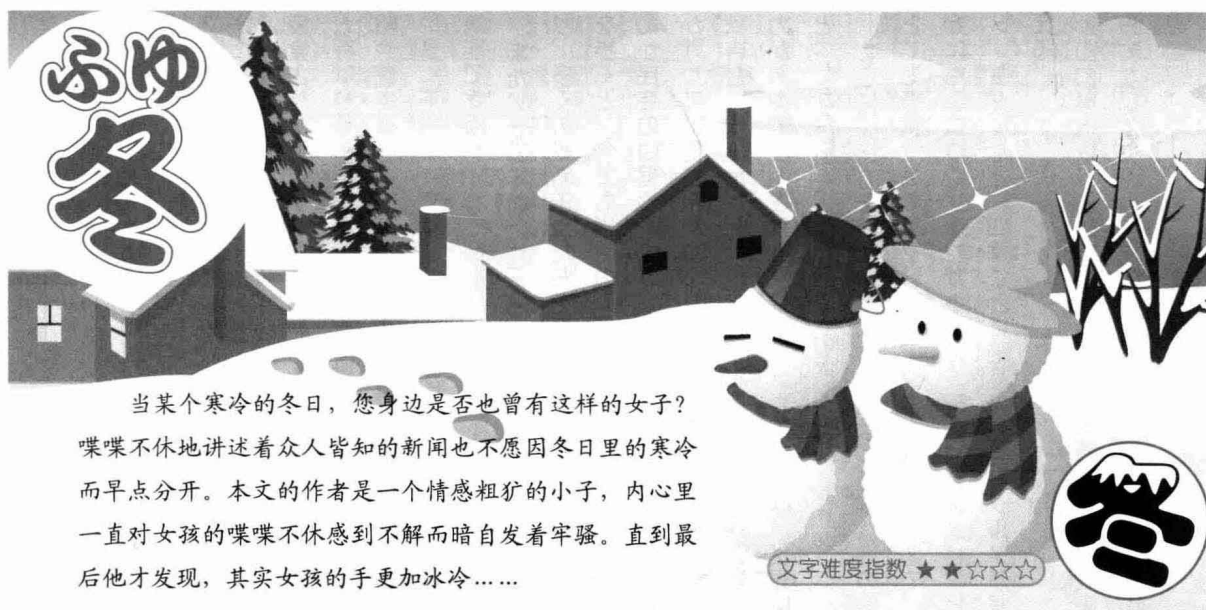
同时，这里是140年前明治维新的故乡，漫步在维



新志士辈出的萩市，仿佛昔日风貌依旧。金鱼灯笼等民间艺术发达的(柳井市)，江戸时代商家遗留下的情趣依旧。日本最大的岩溶台地秋吉台(美祢市)下面遍布的无数溶洞，其震撼力令人叹服。而世界惟一的(岩国市)锦带桥，则是木造的五连·半圆形拱桥。

此外，三面环海的山口，新鲜的海产品也非常丰富。冬天的河豚料理和老头鱼料理享有盛名，另外银鱼，剑尖乌贼、天神海鳗、对虾，比目鱼和方头鱼等，四季的绝品美事均能在此品尝到。

从东京乘新干线到山口县约4小时28分，从大阪约1小时50分，从博多只要34分钟。下关每天都有开往韩国釜山的渡轮。



当某个寒冷的冬日，您身边是否也曾有这样的女子？喋喋不休地讲述着众人皆知的新闻也不愿因冬日里的寒冷而早点分开。本文的作者是一个情感粗犷的小子，内心里一直对女孩的喋喋不休感到不解而暗自发着牢骚。直到最后他才发现，其实女孩的手更加冰冷……

下校の坂はもう赤かった。肌寒い^①風が木の葉^②を散らして、舞い上げる。冷たいコノハの渦に、俺は「畜生、もうちょっと着て来るんだったな。」と、口の中で漏らした。夕日を背に俺は、長い影を伸ばして自宅へ急ぐ。

「…だからさあ。」

幼いころから変わりなく隣に行く綾子が、いつもどおりのその場所、最近の映画だの、アーティストだの、ダメな政治家のダメな姿だの、…誰でも知っているようなニュースを順番に並べていた。「…でもねえ。」と、計算されたように合間なく喋り続ける。

（ホントによくしゃべるよな、こいつ。）俺は帰宅中にそんなくだらない事を考えていた。

国道近くの大通り。すぐ横を走る車の音で、綾子の声が半分近く聞こえない、というもあるだろうが、結局、家近くの住宅団地に入っても、一方的に間断なく喋り続けるのだろう。…俺が無口になっているのは常である。

「…それがねえ。」

そして道をひとつ曲がって団地に入る。街の喧騒から開放されると、「…つまないんだって。」と

放学的那条坡路已被染红了。寒风吹着落叶漫天飞舞。对着冷冷的树叶的漩涡，我脱口说道：“天啊！再多穿一些就好了。”夕阳将我的背影拉长，我急匆匆地往家里赶。

“……所以啊……”

从小就一直和我结伴而行的绫子和往常一样，喋喋不休地罗列着路人皆知的新闻：最近的电影呀、艺人呀、糟糕的政治家的极差的表现呀，“……但是呢，”她一件接一件地不停地讲着。

（这丫头可真能说啊！）在回家路上我想着这么无聊的事。

临近公路的大街上。受身边飞驰而过的汽车声的影响，绫子一半的声音我都听不到。即使这样，都进了家附近的住宅区，她还在喋喋不休地唠叨着。……我常常默不作声。

“……那个呀……”

拐一个弯儿就进住宅区了，终于脱离了街道的喧闹声。我看到绫子打着手势强调着“……说觉得没意

綾子が、目の前を指差すジェスチャー^③を付けて力説するのが聞こえる。

俺はとり合えず何がつかまるか、つまらないかも分らずに、適当に相槌を打った^④。

(…それにしてもよくしゃべるな。…別に悪いことじゃないけど…)

そして突然、強くふいた風に、少し身をかがめて、俺は綾子の後ろに隠れる。

「…さみー。」

「…寒い?…なんで?」

「なんでもない」とでも言いたげに、綾子が不思議そうに聞いてくる。スカートの分、俺よりも寒いはずの装備で、平気な顔をして道を行く。

「なんでって…冬だからじゃないのか?」

「そりゃね。」

綾子は、当たり前でしよう、と適当に返して、「…そういえばさあ。」とお喋りにつなげる。

風が止んだので、俺は綾子と車道に挟まれるように、その横に戻った。あと三百メートルほど真っすぐにいくと、向かい同士に位置する、俺と綾子の家がある。

「…それがやばいんだって、」

何がやばいのかよく聞いてなかった。とり合えず今の俺には冷たい風がヤバイ。

(よくしゃべるのは昔からだったか?)

どうも違う気がする。昔は俺の方がつまらない事をベラベラと聞かせていた気がする。立場が逆だったのは何時の頃だろうか?

学校ではあまりしゃべらないと誰かが言っていた。学校で口数が少ない分、下校時にたまった鬱憤^⑤が吐き出るのかもしれない。そんな事を考えていたとき、綾子が腹を小突いた^⑥。

「ちょっと聞いてんの?」

「う、」俺は唸った。「…聞いてるよ。」

冗談に紛らして^⑦「聞いてねえよ。」…とは言えずに嘘をつくと、少しだが綾子の表情が沈んだ。そ

思。”

我不清楚是什么有意思，什么没意思，暂且适当地附和了她。

(实在是太能说了，虽然不是什么坏事)

突然，一阵强风把我吹得稍稍蜷缩了身子，我藏到綾子身后。

“真冷啊!”

“冷? 为什么?”

我刚想说不为什么，却看着綾子一副不解的样子。她穿着短裙，这样的装束应该比我还冷，她却毫不在意地走着。

“还问为什么，……这不是冬天嘛?”

“那倒也是。”

綾子认为是应该的吧，适当地回应了我一句。然后又接着说，“啊，对了……”。

风停了，我又被夹着似的，回到了綾子和车道之间。再直走300米，就是隔道比邻的我家和綾子的家了。

“……说什么‘糟糕了’”

綾子说什么糟糕了我没有听清。不管怎样，此时的我觉得这寒风真够糟糕的。

(綾子她从前就这么能说吗?)

好像不是。感觉以前是我叽里呱啦地说些无聊的事让她听。什么时候倒过来了呢?

听人说她在学校里是不太爱说话的。也许是在学校少言寡语的缘故，放学后就将积攒的话都一古脑地说出来了。正这么想时，綾子戳了一下我的肚子。

“喂，在听吗?”

我嘀咕了一句，“嗯，听着呢。”

我没有开玩笑地蒙混一句：“没听哦”，而是对她撒了个谎。綾子情绪有些低落了。怯怯地望了我一

して控えめな声で、恐る恐るこちらに視線をやる。

「つまない？」

「はあ？」

俺は質問の意図がわからなくて馬鹿な声を漏らした。綾子はその視線のまま、少しふて腐れたように、それでもどこか控えめに、

「だって全然しゃべんないし、」といった。

「いや、考え事。」

俺が言い訳をすると、綾子はまたすぐいつもの調子で唇を尖らせる。

「やっぱり話聞いてなかったんじゃない！」

「いや、聞いてたって。」

「嘘くさー。」

「いや、用は自分から話し掛けるほど、頭が回らなかったってことで、考え事してても、話は聞けるって。」と言い訳。

「じゃあ、何話してたか言ってみてよ。」

詰まった俺の返事に、綾子は「ほら言えないじゃん。」と勝ち誇る^⑧。

「いや、言えるって。」と答えてみたものの、実際聞いていない事には仕様がな。

「じゃあ言ってみてよ。」

「えー、…そうだな、あれだ。あれ。」

俺は自分が思っている事を言った。

「いや、…えー、…、っ『もう冬だなあ』って。」

しみじみとした言い方に、一拍置くと、綾子が腹をかかえて笑い出した。そんなに笑う事でもないだろうに。

「何それ？」苦しそうに涙まで浮かべている。

「私そんな事いったんだ？」

俺はやけになって「言った。」と言い切る。

「でも、ホント寒いんだって。」

「ふーん。」ととぼげる綾子。

「手もカチカチで、話なんか聞ける余裕なかったんだって。」

眼、小心翼翼地说，

“无聊吗？”

“啊？”

我没弄明白她问我的意图便这么说出了一句蠢话。綾子就那样看着我，有些低落的样子，谨慎地说，

“可你根本不说话呀！”

“没有，我在想事儿呢。”

我这么一辩解，綾子又马上以平时的语调，噘起嘴说，

“到底还是没听吧！”

“不，听了啊。”

“说谎。”

“不，因为不用像自己说话那样动脑筋，即使想事儿，也能听到。”我狡辩。

“那你说说看，我刚才都说了什么？”

见我无言以对，綾子得意地说，“看，说不出来了吧。”

“不，能说，”话虽这么说，但是实际上根本没听，不知道怎么说。

“那你说说看吧。”

“嗯，……对了，就是那个，那个！”

我说出了自己正想着的事。

“不是，嗯，……刚才你说，‘已经是冬天了。’”

看着我在像模像样地说着，綾子顿了一下，捧腹大笑起来。有那么好笑吗！

綾子很痛苦地眼泪都要流出来了“什么呀？我说这样的事了？”

我开始负隅顽抗，“说了！”

“不过真的很冷啊。”

“哦……”綾子敷衍着我。

“手都冻僵了，根本就没闲情逸致听你说话了。”

「ふーん。」ととぼける綾子。

くそ、信用してねえ。

俺は「ほら見ろって、」と言って、手が芯まで冷えているのを思い知らせてやろうと、綾子の手を軽く握ってやった。

(あれ?)

「何これ? すっでい冷たいんじゃない?」と驚いて言う筈だった綾子の唇は、よく見ると小刻みに震えていた。

(…なんで気づかなかったんだ。…いや、…気づくわけねえよ。)

俺の冷たい手の平^⑩からは、それでもグングンと熱が逃げていた。

自宅の前、握った綾子の手の平は俺のそれよりずっとずっと冷たかった。

「じゃ、…もう帰るね。」

「…」

なんで、「寒い」とか「早く帰ろう」とかその女の子が言わなかったのか、自宅とその娘の家の間の道路で、手の平でしに温かみを伝えながら、…俺は考えた。

日の沈む薄暗い街は、もうすっかり冬の様相を見せている。

“哦……” 綾子还是敷衍地应着。

糟糕，她不相信我呀。

“不信你看看”，为了让她知道我手冻得透心儿凉，我去轻轻地握住了綾子的手。

(咦?)

“什么嘛! 这么冷呀?” 本应该这样惊叫的綾子的嘴唇，仔细一看才发现在轻轻地颤抖着。

(为什么竟没注意到呢? ……不，不可能注意到。)

我冰冷的手心里仍涌出了滚滚热流。

在我家门前，握着的綾子的手比起我的已经冰冷得多。

“那，……我回家了。”

“……”

在自家和女孩家之间的路上，我一面用我的手心传递着温暖，一面想着，为什么她不说“冷呀”，“早点回家吧”之类的话呢。

日暮西山，昏暗的街头已是浓浓的冬日气息。

单词注释

①肌寒い(はださむい) / 凉飕飕的，有点凉意

②木の葉(このは) / 树叶

③ジェスチャー(gesture) / 姿态，姿势，手势；摆样子，风度，作姿态；表示；手势谜语游戏

④相槌を打つ(あいづちをうつ) / 打帮腔，随声附和

⑤鬱憤(うっぷん) / 郁愤，积愤，积恨

⑥小突く(こづく) / 捅，戳

⑦紛らす(まぎらす) / 蒙混过去，掩饰过去，岔开，支吾过去；派遣，解，消

⑧勝ち誇る(かちほこる) / 因胜利(昂然自得)；因胜利骄傲自满，得胜骄傲

⑨小刻み(こきざみ) / 切碎，切细；隔一会儿，分期分批地，一点一点，零零碎碎

⑩手の平(てのひら) / 手掌

おに 鬼ごっこ

捉迷藏

文字难度指数 ★★☆☆☆



老实说，第一遍读完这篇文章时，小编变得云里雾里，丈二和尚摸不着头脑，并且完全陷入后面的情境中。当时最关注的是这样的故事是不是能够被读者接受。而读过两遍，在不断与主编、译者以及几名日本朋友交流过后，才明白了这篇文章的主旨，并决定登载。这是一篇很具日本风格的恐怖悬疑小说。小编是想通过各种题材的小说从不同角度向读者传递更多日本社会文化信息。

鬼ごっこ在日本是一种孩子间玩耍的小游戏。类似于中国的“捉迷藏”。只是角色的称呼不同，那个要捉人的角色称之为“鬼”，被他捉到的人就要接替他成为“新鬼”。本文将一场“鬼ごっこ”的游戏与现实世界相结合，场景和角色相互切换。通过描述父亲虚幻的一场游戏来讲述现实世界中的生与死。

亲爱的读者，当您看完这篇文章时，我想一定会有很多触动。恐惧？感动？或者是仍有很多不解之处？编辑部想借此机会通过这篇文章与亲爱的读者做个互动。希望你参与进来给大家解说这篇文章，谈谈你是怎样理解它的。您理解的本文中几位主人公的命运如何？或者您给文章写一篇自己喜欢的结尾？我们会认真阅读每位读者的回馈信息，请在问卷中关于本文的专栏里填写后寄送给我们，你也可以给我们发邮件。我们将针对读者的答复，选出有新意、有想法的问卷，刊载出来，获胜者将得到编辑部送出的小礼物。期待您的参与哦！

いつものバス停に降りて腕時計をみると、まだ4時半である。今回の出張は、いつになく疲れた。商談の結果が悪すぎたせいかもしれない。会社に寄って報告書を書く気力もわからない私は、得意先からそのまま自宅へ直帰することにした。見慣れた並木道に沿って、夕暮れ前の優しい木漏れ日の中を歩いてみると、剥き出し①になった神経も少しずつ癒されていくような気がする。

企業戦士の日々は、あまりにも激務②である。団地の中の小さな一角に過ぎないが、私にとって心の安らぐ唯一の場所といえ、そこで私を待っている家庭だけでしかない。今から家に帰れば、夕食まで子供とキャッチボールをする時間ができる。こんな日は、まず子供の顔が見たい。そう思うと、家路に向かう歩調も早くなり、ふと回りも見えなくなっていたのだらう。気がついたときには、私は慌しい人声とサイレンの喧騒の中にいた。立ち止まって、

在常去的公交车站下车后一看手表，才四点半。与往常不同，这次出差很疲劳。也许是商业洽谈结果过于糟糕的缘故？！连顺路去公司写报告的力气都消失殆尽的我，决定从老主顾那里直接回家。沿着熟悉的林荫道，行走在黄昏前挤过枝叶间隙洒下的和煦阳光里，似乎觉得凸起的神经也一点一点地恢复了。

企业战士的每天，工作忙得不可开交。说到唯一使我心安神宁的港湾，只有在那等着我的家，尽管它只不过是住宅小区里的区区一角。倘若现在回家，晚饭前可以有时间与孩子练习（棒球）接投球。像这样的日子，首先想看孩子。一这么想，朝着家行走的步伐也就加快了，猛然间周围的一切都不复存在了。等到察觉时，我已经处在慌乱的人声和警笛声的喧嚣中。停下脚步后，我核实了方向。一辆救护车，风驰电掣般地驶离了与我近在咫尺的十字路口。我跑步靠

ほうこう かくにん すぐめ はな でき よ かど いちだい
方向を確認した。すぐ目と鼻の先の四つ角を、一台
の救急車がけたたましい勢いで走り去っていく。私
は、人々がたむろしているところまで駆け足で近づ
いた。そこはすでに近所である。私は見慣れた顔
の一人に話し掛けた。朝の通勤時に、よく挨拶を交
わすことのある年配^{ねんばい}の奥さんだった。

「なにがあったんですか。」

「ご近所の芳雄くん、さっきそこでダンプに跳ね
られたんですよ。あの様子じゃ、もうだめでしょう
ね。まだ小学生なのにねえ。」

「交通事故ですか。」

「この四つ角、多いのよ。くれぐれもお子
さんには気をつけるようにいっておいたほうがいい
わ。」

私は愕然とした。

芳雄くんのことは私もよく知っているのだ。息
子のタケシと仲のいい友達で、学校から帰るといつ
もふたりで遊びに出ているようだった。休みなど、
夕方^{ゆうがた}の今ごろになると決まったように私たちの家へ
来て、ドアの向こうから、「あそぼ…」という声を
かけてくる。その声が今も私の耳の中に残ってい
た。タケシは、芳雄くんに誘われると何もかもほっ
ぱり投げて、外へ飛び出していった。妻の日ごろの
話などを聞いていると、彼は、内気^{うちき}なあの子のたっ
た一人の友達だったのではないだろうかとも思う。
心を休める^{やす}はずの帰宅が、さらに陰鬱なものになっ
た。タケシにこのことをなんといえればいいのだろう。

押し黙ったまま玄関で靴を脱いでいる私に、台所
の方向から聞こえてきた妻の「おかえりなさい」
は、いつもの通りの日常だった。思わずため息が出
た。今日のことは黙っておこう。実はその時、私は
そう考えていた。ずるい方法かもしれないが、知ら
なかった事にすればいい、明日にでも妻の口から言
ってもらうのが一番である、と。今はただ、タケシ
とキャッチボールがしたい。私の気持ちはそれだけ
だった。煩わしい事は何もかも忘れて、一刻も早
くタケシの顔が見たかった。堅苦しいスーツを脱ぎ
捨てて、居ても立ってもいられない気持ちで、子供
部屋を覗いた。タケシはいない。

近人群聚集的地方。这里已经是家的附近。我与其中
一个熟人搭讪。她是我早晨上班时常与我打招呼的中
年夫人。

“出什么事啦？”

“家住附近的芳雄君，刚才在这里被自动卸货车
轧了。瞧那模样可能不行了啊。还只是个小学生，
偏偏……”

“是交通事故吗？”

“这里的十字路口事故多呀！最好是反复叮嘱孩
子注意。”

我愕然了。

我也是非常了解芳雄君情况的。他好像是我儿子
阿武的好友，放学回家便两人结伴出门玩耍。一遇上
休息日等或如现在这傍晚时分，他肯定上我家来，从
房门外喊阿武“一起玩吧……”。那声音，现在还留
在我的耳际。一受到芳雄君邀请，阿武便什么都扔下
而后朝外跑去。听妻子平日提及时，我也觉得他多半
是我那性格内向孩子的惟一朋友。理应是心情平静的
回家，现在变得更加郁闷了。我应该怎样告诉阿武这
一情况呢？

我一声不吭地在玄关脱鞋，从厨房方向传来的妻
子“辛苦了！”问候声与往日相同。我不由得叹了口
气。今天的情况就瞒着吧。其实，我当时正是那么想
的：也许是要滑招术，但应该装作不知道，最好是明
天或者其他什么时候由妻子说出来。现在，我只想与
阿武练习（棒球）接投球。我的心思仅此而已。想把
烦恼事忘得一干二净，尽快见到阿武。我脱下正式场
合穿的西服套装，心急如焚地窥探孩子房间。阿武不
在！

「あれ、タケシはどこだ？」

台所の入り口から顔だけを突っ込んで、妻に尋ねた。

「今、外へ遊びに出たわよ。晩御飯まで遊んで来ますって。」

「ひとりでか？」

「芳雄くんが、あそぼって、誘いに来たのよ。」

それはいつだ、と尋ねた私の声は、叫び声だったのかもしれない。妻が眼を丸くして、ついさっきよ、と振り返った。

芳雄くんは交通事故で死んでいるのだ。いや、生きていたとしても、救急運病院に運ばれているはずだ。よほど取り乱したのか、私はにしていた二つのグラブとボールを食卓の上に叩き付けていた。妻は怯えたように黙ってしまった。彼女にこれ以上のことを説明する暇などありはしない。次の瞬間、私は無我夢中^⑥で、外へ飛び出していた。タケシを救わなければならない。その思いが私を突き動かした。何から救うのか、どうやって救うのか、それらの疑問は、私の頭の中にはまるでなかった。ただ、相手は人間ではないかも知れないという、一抹の確信があるだけだった。ドアから一歩外へ出たとき、私は否応なく、非現実の異世界に足を踏み出してしまったのに違いない。もはやそこから後戻りはできなかった。どこをどう走ったのかわからない。

団地の端にちぎって捨てられたような小さな公園がある。気がつく、私はまるで呼び寄せられるように、その前に立っていた。子供のはしゃぐ声が聞こえる。小鳥がもつれ合うようなかん高い声だった。あたりはすでに薄暗かったが、淡い光を集めたような空間の中で、ふたりの子供が追いかけっこをして遊んでいるのが見えた。一人はタケシであり、もう一人は確かに芳雄くんだった。夕日を受けて芳雄くんの足元から伸びているはずの影がない。

「あ、おとうさん。」

その時、私を見つけたタケシが、突然こちらに向かって走ってきた。芳雄くんがそのタケシを追った。タケシの背後から、髪を掴もうとでもするように伸ばした芳雄くんの手は、悪魔のようにするどい

「噢，阿武在哪里？」

我只是把脑袋伸入厨房门口向妻子打听。

“刚去外面玩呀，说玩到吃晚饭时回来。”

“是一个人玩吗？”

“是芳雄君来邀请阿武玩的呀。”

“那是什么时候？”我问这话的声音也许像叫声。妻子瞪大眼睛转过脸来答道“就刚才呀。”

芳雄君已经因交通事故死了。不，就是活着按理也被送进医院抢救了。可能我几乎失去了理智，竟然将两只棒球专用手套与棒球使劲朝桌上掼去。妻子怯怯地一言不发。我没时间向她解释那以外的情况。接下来的刹那间，我不顾一切地朝外面跑去。必须救出阿武。这想法强烈地左右着我。从何救？怎么救？这些疑问，我的脑袋里压根儿没有。只是一丝确信他可能已经离开人间。朝门外跨出一步的时候，无论是否情愿，我无疑已经朝着非现实的不同世界迈出了脚步。已经无法从这里后退了。我不知道怎样奔跑以及朝哪里奔跑。

住宅小区边上，有一座似乎遭遗弃的小不点儿公园。察觉时，我仿佛被人喊到那里似地站在公园前面。我听到孩子的欢闹声，犹如小鸟相互纠缠在一起的尖叫声。周围已经光线暗淡，可在微弱光线聚合的空间里，我看见了两个孩子正在玩捉迷藏游戏。一个是阿武，另一个确实是芳雄君。芳雄君脚边，没有受晚霞影响出现理应展开的投影。

“啊，爸爸。”

这时，发现我的阿武突然朝我跑来。芳雄君在他后面追赶。芳雄君从阿武背后伸出企图抓他头发的手，那只手上持有恶魔般的利爪。阿武看不见利爪，但我看得见。接下来的瞬间，连背脊也快被冻僵的恐